

# 「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成30年6月1日

仕事の内容	栄養指導事業 離乳食講習会(初期・中後期)				
担当部署・課長名	健康	課	保健	係	課長名 志村明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 保健・医療の充実

(総合計画書 47 ページ)

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 1 保健衛生総務費	事業 3 母子保健事業費
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内在住の4か月から11ヶ月の乳児とその保護者			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 離乳食講習会の定員数 22回(年間実施回数)×20人(1回当たりの定員)=440人
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ①乳幼児期の栄養、健康、発育発達等についての基本的な知識を習得する。 ②母親同士が仲間作りを行い家庭での育児力が向上する。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 離乳食講習会の参加人数
	③ そのために何をしましたか。 離乳食の進め方と作り方についての講話と調理実習、試食を行った。 離乳食作りの負担を軽減するために、簡単な作り方や創意工夫の仕方についての調理実習を行った。 個別で栄養相談、健康相談、育児相談を行った。 上記の内容で講習会を行った。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 実施回数

		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	440	440	440	
	成果指標	②の数値	人	309	257	229	
	目 標	②の目標値	人			350	
		目標値設定の考え方	1回の講習会につき15~16人程度の保護者の参加を目標としている。				
活動指標	③の数値	回	22	22	22		

3 経費	事業費(実績)		円	1,116,510	1,048,803	1,233,195	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,267,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成27年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	607,510	563,803	643,195	
		特定財源	円	509,000	485,000	590,000	
		(うち受益者負担)	円			0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	826,700	826,700	826,700		
事業費+人件費		円	1,943,210	1,875,503	2,059,895		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成9年度開始。 母子保健法第9条の規定により開始。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 初めての離乳食講習会(4~6か月)は保育付きで調理実習時の試食も行っていましたが離乳食の開始時期が遅くなった事により、現在は調理実習は行わず離乳食作りを見学してもらい、試食は保護者のみとしている。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	<市民の声・感想>・保育付きの講座だったので、同じような月齢のお母さん達とゆっくり関われ、嬉しかった。 ・実際に調理したり試食できると、わかりやすかった。 ・手づかみ食べのメニューや多めに作って冷凍できるメニューをもっと紹介して欲しい。 ・離乳食を食べたことがなかったので、味付けなど参考になった。 ・想像していたより大変そうだった。

仕 事 の 内 容	栄養指導事業 離乳食講習会(初期・中後期)			
担当部署・課長名	健康	課	保健	係 課長名 志村明子

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取組みは無い	取組手法 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体: ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。		なし	
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。 ・情報収集や研修に努め、正確で新しい情報を伝えた。 ・個々のニーズに合わせた離乳食作りの助言をした。		
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。 核家族化などの影響により育児に困っている家庭が増えており、正しい情報が不足している。		
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など) ・母親の育児不安や離乳食作りの負担を軽減するため、個々の家庭に合わせた作りやすい方法を提供する。 ・常に最新で正確な情報を伝える。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。 ・他職種とも連携をとり、生活環境や発育発達の間からも支援できるようにする。 ・職員は常に情報収集、研修に努める。		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。